

## 肝障害・腎障害の重症度

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。

添付文書の禁忌や慎重投与における肝障害、腎障害において検査値など明確な記載のない場合の重症度分類について当薬剤部における判断についてご説明します。あくまでこの判断基準は目安ですので最終判断は担当医による確認が必要となります、予めご了承ください。

### 肝障害の重症度



添付文書に明確な記載がある場合はそれに準じます。明確な記載がない場合はChild-Pugh分類でGrade「C」-重篤、「B」-中等度、「A」-軽度に相当すると当薬剤部では原則判断します。

項目	スコア	1点	2点	3点
脳症		無い	軽度	時々昏睡
腹水		無い	少量	中等量
血清ビリルビン値 (mg/dL)		2未満	2-3	3超
血清アルブミン値 (g/dL)		3.5超	2.8-3.5	2.8未満
プロトロンビン活性値 (%)		70超	40-70	40未満

Child-Pugh 分類	A	5-6点
	B	7-9点
	C	<b>10-15点</b>

原発性肝癌取扱い規約より引用

### 腎障害の重症度

添付文書に明確な記載がある場合はそれに準じます。明確な記載がない場合は、CKD診療ガイド2012よりCKD重症度分類から「G5」-重篤、「G3b・G4」-中等度、「G1・2・3a」-軽度に相当すると原則判断します。

原疾患		蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)	正常	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
		30未満	30~299	300以上	
高血圧 腎炎 多発性囊胞腎 移植腎 不明 その他	尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr比 (g/gCr)	正常	正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
		0.15未満	0.15~0.49	0.50以上	
GFR区分 (mL/分/1.73m <sup>2</sup> )	G1	正常または高値 ≥90	緑	黄	赤
	G2	正常または軽度低下 60~89	緑	黄	赤
	G3a	軽度~中等度低下 45~59	黄	赤	赤
	G3b	中等度~高度低下 30~44	赤	赤	赤
	G4	高度低下 15~29	赤	赤	赤
	G5	末期腎不全 (ESKD) <15	赤	赤	赤

重症度は原疾患・GFR区分・蛋白尿区分を合わせたステージにより評価する。CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを緑のステージを基準に、黄、オレンジ、赤の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。(KDIGO CKD guideline 2012を日本人用に改変)

CKD診療ガイド2012より引用

当院の院外処方せんに掲載の検査値の基準値は薬剤部ホームページ→薬薬連携→院外処方せんに記載されている検査値一覧表(PDFファイル)をご参照ください。